

ふくしま国際医療科学センター

基本構想



はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災とそれに続く東京電力福島第一原子力発電所事故によって、福島県では自主避難を含めて 16 万人を超える県民が避難し、将来に対する不安を抱えながら暮らしている状況にあります。また、放射性物質による環境汚染や風評被害は、県内産業にも多大の打撃を与えるなど、本県の安全と安心を根底から揺るがすものとなっております。

こうした状況の中、公立大学法人福島県立医科大学は、災害発生以降、震災患者の受入れ、二次被災者医療施設としての役割を担うとともに、全県民を対象とする健康管理調査を福島県から受託、実施するなど、県民医療の中核機関としての役割を果たしてきました。

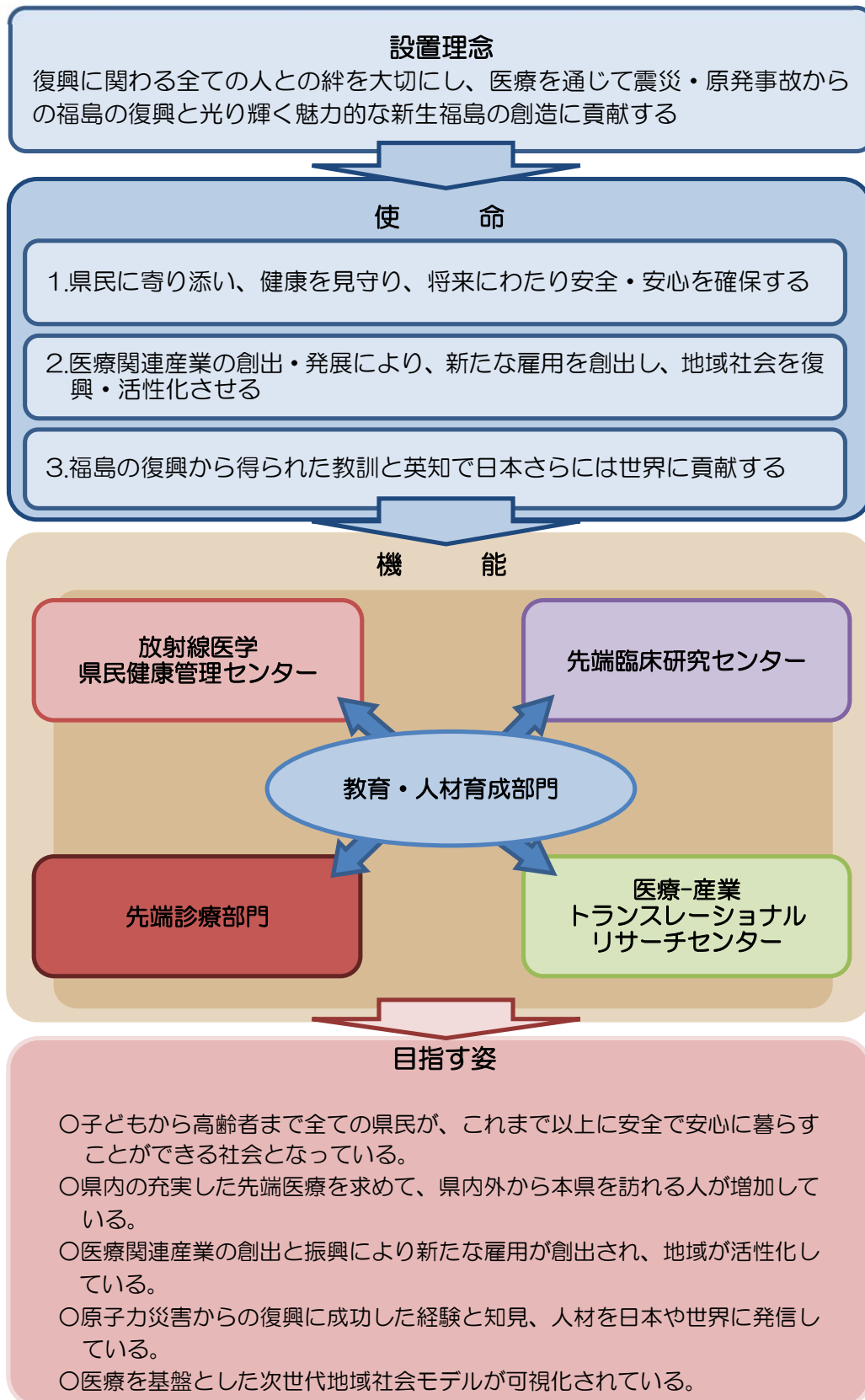
これらの背景を踏まえ、本学では国内外のふくしまを愛し、ふくしまに心を寄せるすべての人々の力を結集し、復興に向けた医療の拠点となる「ふくしま国際医療科学センター」を設立することとしております。このセンターは、県民健康管理調査の着実な実施、最先端の医療設備と治療体制の構築、世界に貢献する医療人の育成等に加え、医療関連産業の振興により、地域社会を再生・活性化し、その復興の姿を全世界に向けて発信する主導的役割を担うこととなります。

本学は、将来にわたり県民に寄り添い、県民の心と体の健康を見守り続け、福島県民の医療の砦となることを強く心に決意しています。そして、そのことが、日本全国、世界中から寄せられる暖かい支援への恩に報いることと確信しております。

1. ふくしま国際医療科学センターの理念等

5つの機能で県民生活の安全安心を確保し、地域社会の復興に貢献します。

- (1) 放射線医学県民健康管理センター
- (2) 先端臨床研究センター
- (3) 先端診療部門
- (4) 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター
- (5) 教育・人材育成部門



2. 各組織の機能・施策

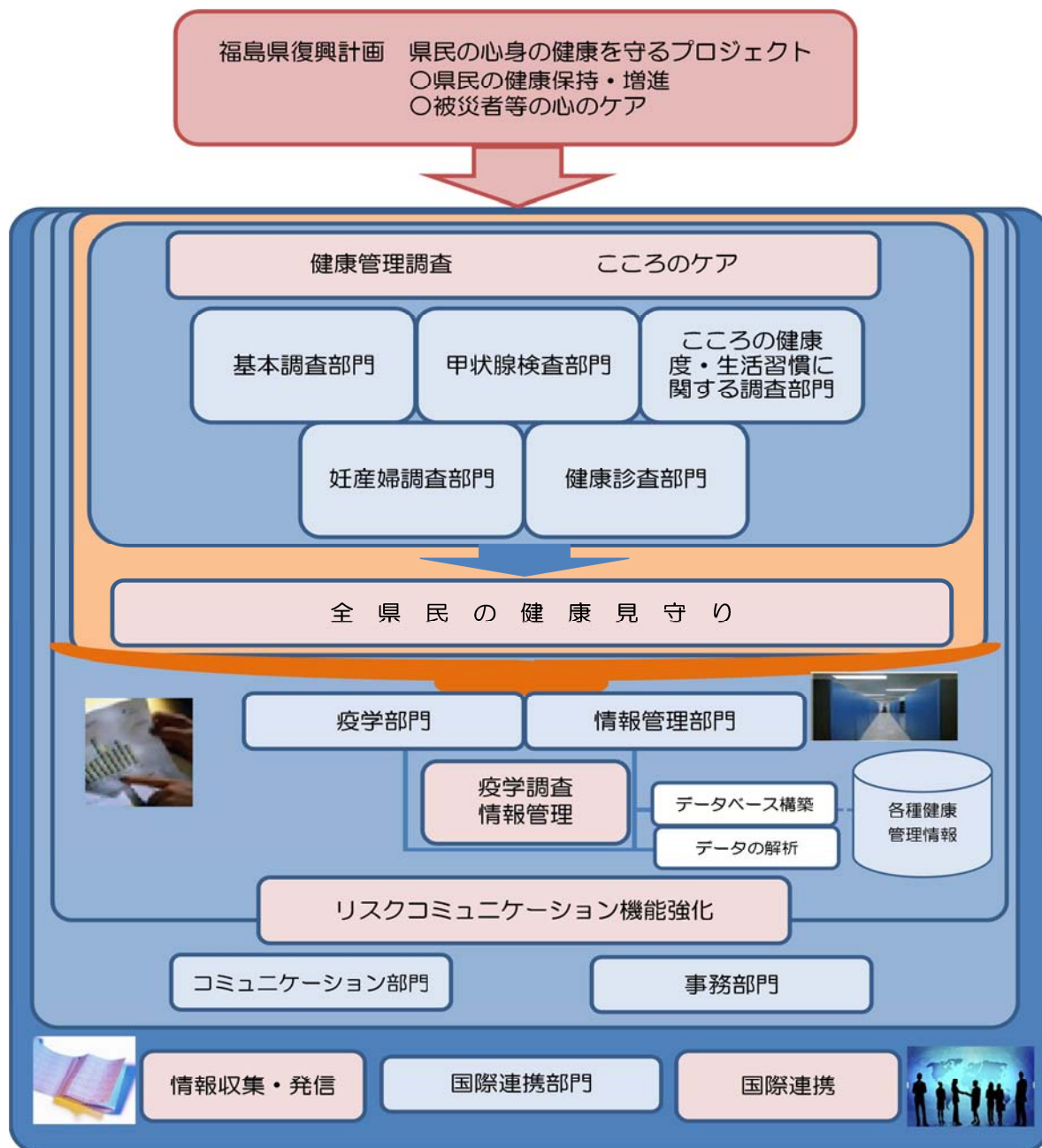
(1) 放射線医学県民健康管理センター

① 機能

県民の健康管理調査・放射線と健康に関する疫学調査を通じ、全県民の健康を見守ります。

② 施策

- ◆ 全県民を対象とする長期的な健康管理調査の実施と関連施設の整備
- ◆ 基本調査、甲状腺検査、こころの健康度・生活習慣に関する調査、健康診査、妊産婦に関する調査等の実施を通じ、県民の健康を見守る保健医療サービス事業の推進拠点の整備
- ◆ 放射線の影響に関する疫学調査分析、健康管理データベースの構築と活用
- ◆ 積極的な情報収集と情報発信事業、最先端研究・教育とその普及のための国際連携拠点化に向けた関連施策の実施
- ◆ 学際的な健康リスクコミュニケーションモデルの確立と持続可能な健康見守り事業の推進



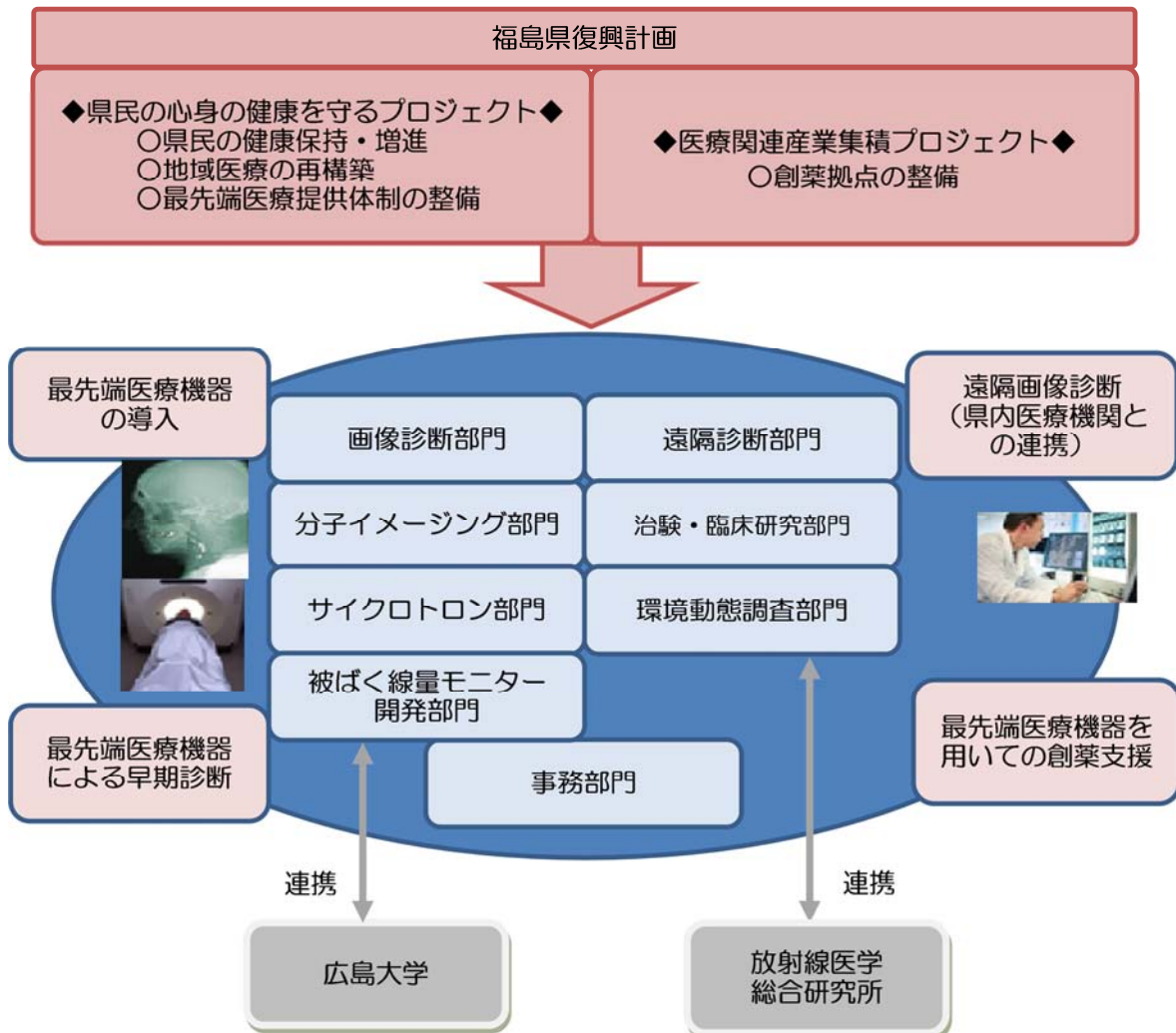
(2) 先端臨床研究センター

① 機能

画像等を中心とした最先端の医療機器により各疾病の早期診断を実施します。

② 施策

- ◆分子イメージングや最先端機器による各疾病の早期診断
- ◆遠隔画像診断等を駆使した地域連携医療ネットワーク
- ◆PET-MRI、PET-CT、MicroPET、Syngo.via 等の整備及び運営
- ◆サイクロトロン整備
- ◆放射線医学総合研究所・広島大学と連携した事業の実施



(写真はHPより)

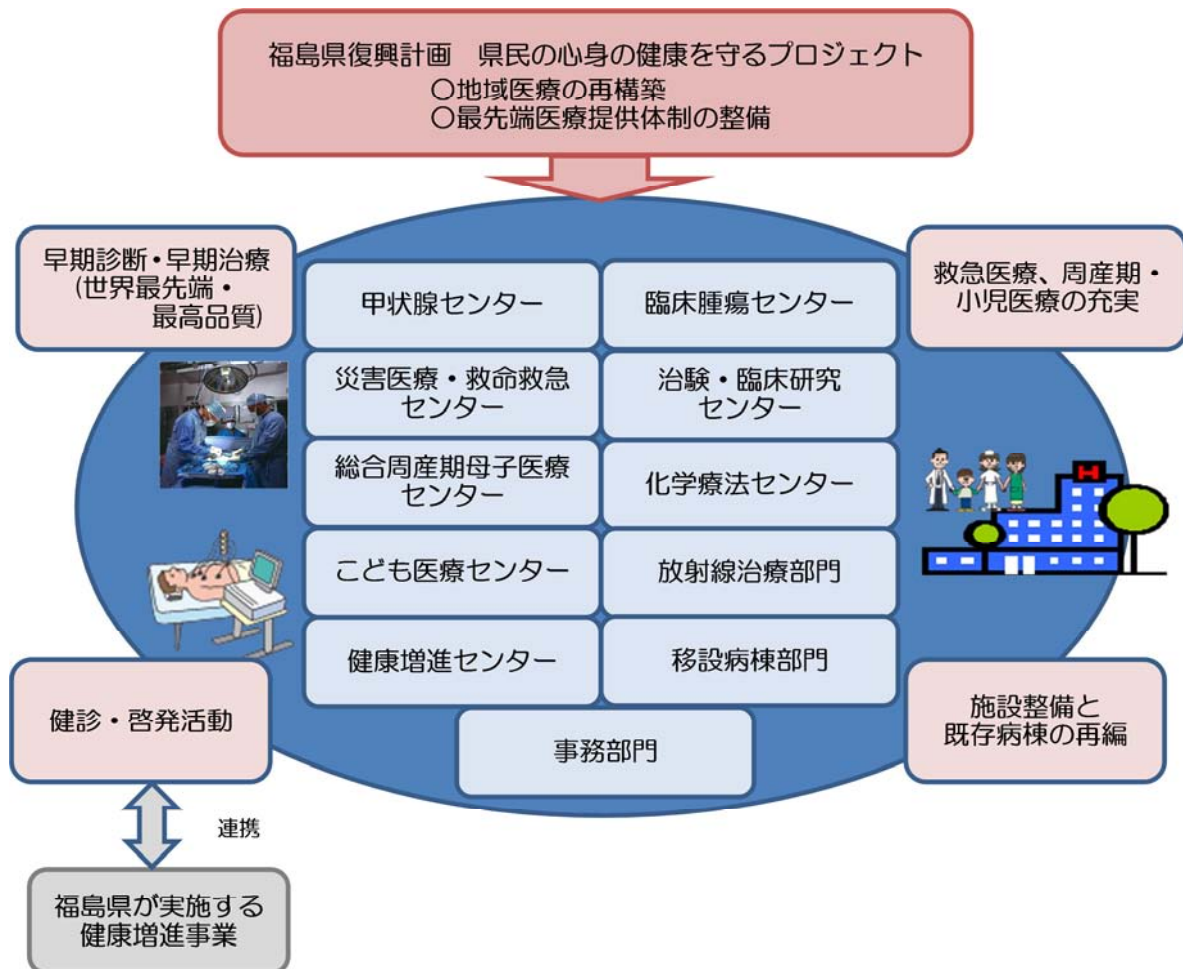
(3) 先端診療部門

① 機能

先端医療技術・機器を活用して各疾病の早期診断及び早期治療を実施します。

② 施策

- ◆各疾病の早期治療のための新病院棟の整備
- ◆甲状腺センターの整備及び運営
- ◆災害医療・救命救急センター、母とこどもの安心のための総合周産期母子医療センター、こども医療センター、既存病棟からの移設病棟（床）の整備及び運営
- ◆健康増進センター（予防啓発活動の検討を含む）の整備
- ◆既存病棟の再編整備（例：疾患別による病棟編成）



(写真はHPより)

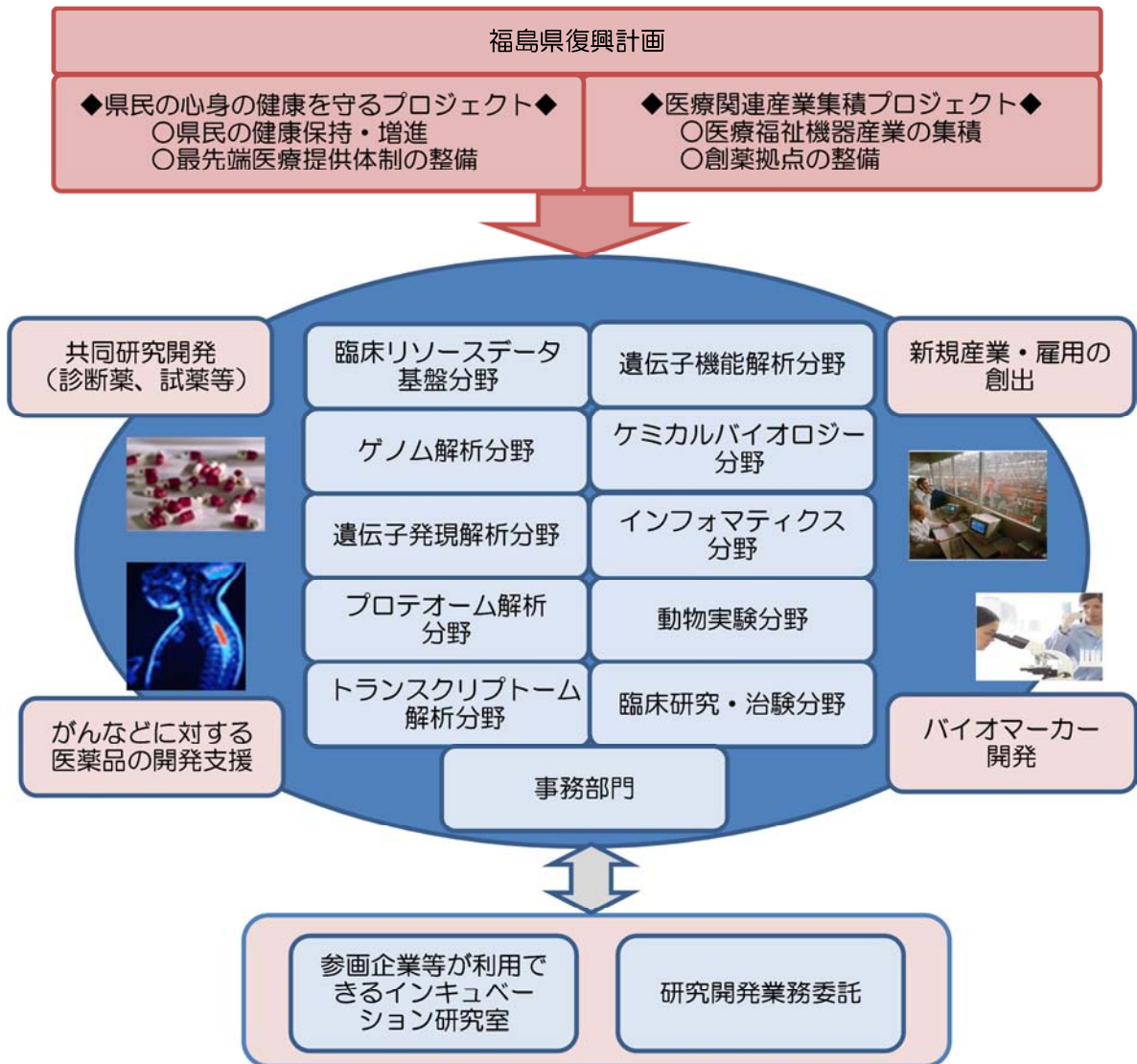
(4) 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

① 機能

医療界と産業界を円滑に橋渡しすることにより、がんを中心とした諸疾患の新規治療薬・診断薬・検査試薬や医療機器などの開発支援を多面的に行います。

② 施策

- ◆医療と産業の連携を促進するための分野（講座相当）を設立し、諸疾患の診断・治療に有効なバイオマーカーの開発
- ◆特定疾患等に関する診断薬、検査試薬、医療サービス、医療機器などの共同研究開発
- ◆製薬企業等と本事業をコーディネートすることで、企業による医薬品等開発を加速するとともに、この取り組みの中で新規産業・雇用の創出と既存産業の誘致
- ◆最先端のがん治療法、診断法を行えることによる県民の健康の維持・増進



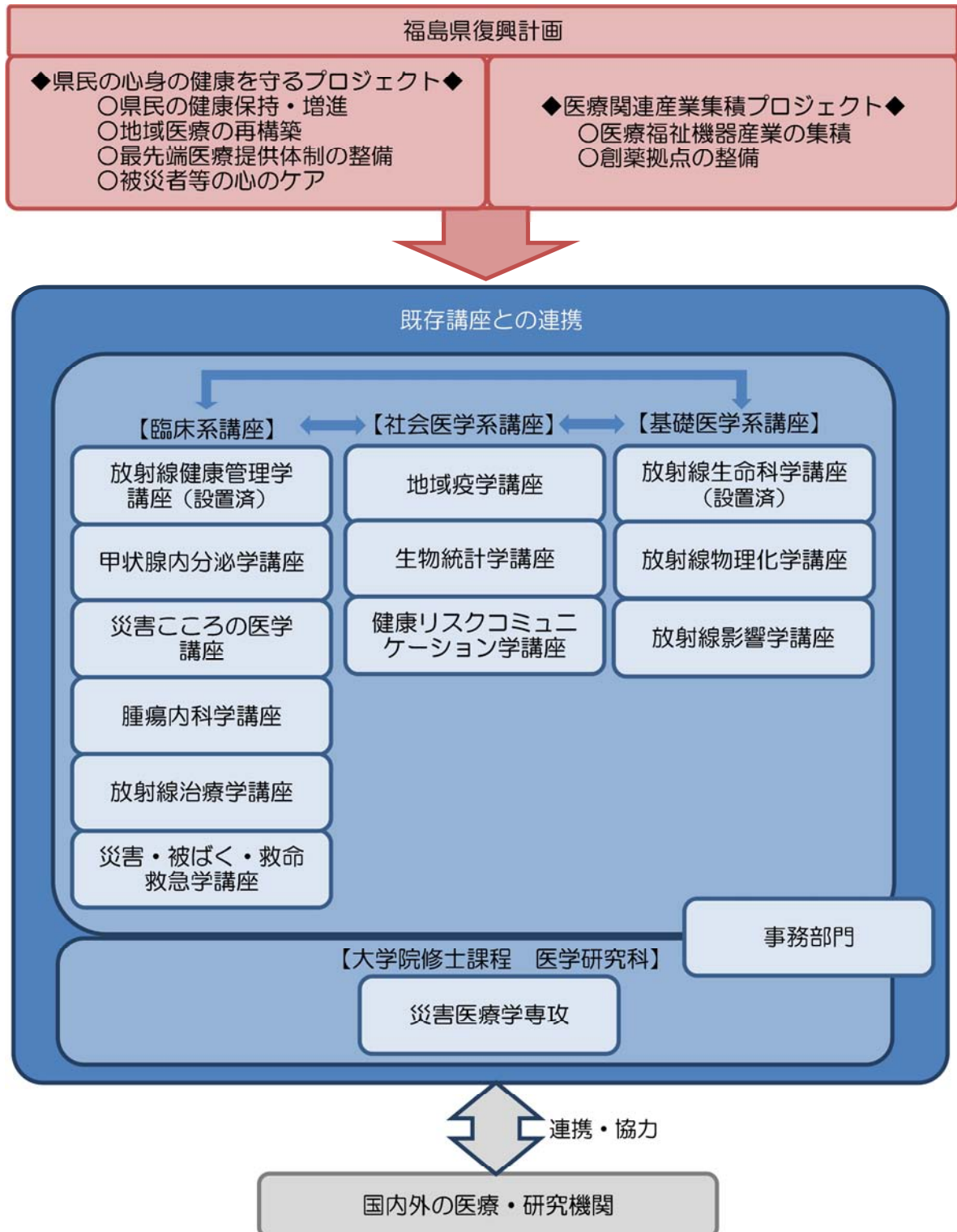
(5) 教育・人材育成部門

① 機能

県民健康管理調査を着実に進め、最先端医療の提供を行うとともに、それらの研究を実施するために必要な人材の確保、教育及び育成を行います。

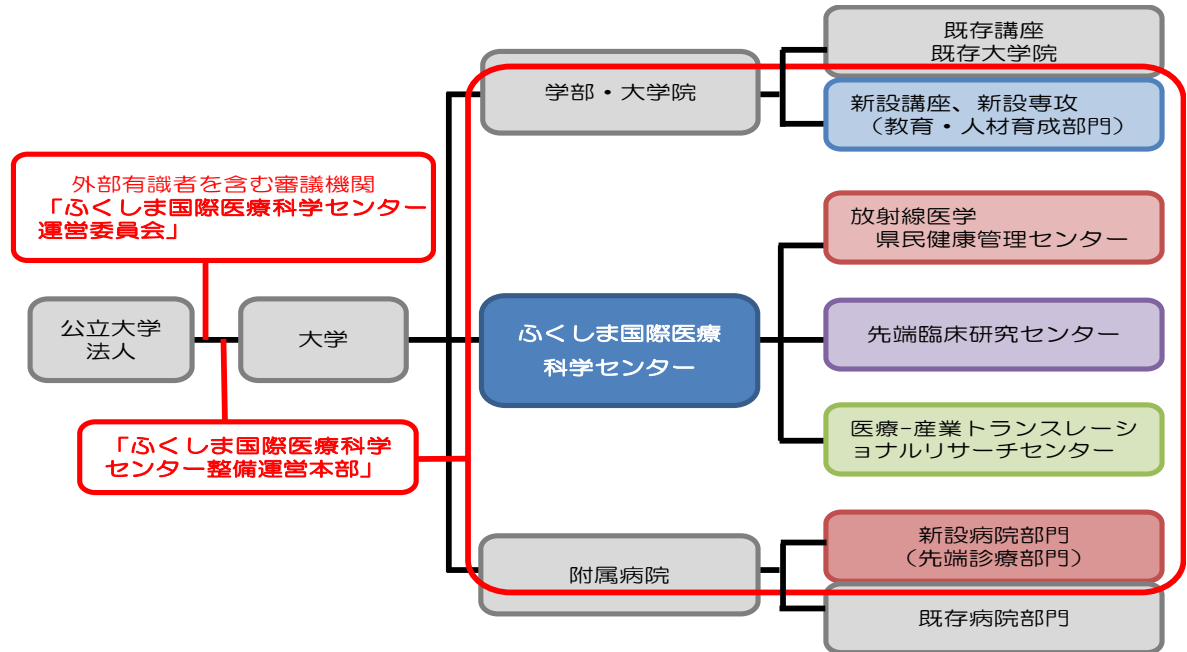
② 施策

- ◆放射線被ばくを含む災害医療の教育・研究に係る国内外の人材を長期的に確保する教育システムの構築
- ◆大学院、講座等の設置、施設の整備・運営



3. 組織体制

- ① 大学法人機能を十分に活用するため、ふくしま国際医療科学センターを学部・大学院、附属病院と並列で大学内部に設置します。
- ② 法人に、外部有識者を含む審議機関として、「ふくしま国際医療科学センター運営委員会」を設置し、重要事項を審議します。
- ③ 「ふくしま国際医療科学センター整備運営本部」は、大学法人の理事長・副理事長・理事等を構成員とし、5つのセンター・部門を統括します。



4. 概算事業費及びスケジュール

(1) 概算事業費

施設等整備費用の概算は、約300億円と見込まれます。

(2) 事業スケジュール

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度			
施設整備事業	【B棟】 ・環境動態調査施設	基本構想策定	設計者選定	施設基本設計	施設実施設計	入札	工事	実施稼働
	【C棟】 ・先端臨床研究センター	基本構想策定	設計者選定	施設基本設計	施設実施設計	入札	工事	実施稼働
	【A棟】 ・医-産TRセンター ・教育・人材育成部門	基本構想策定	設計者選定	施設基本設計	施設実施設計	入札	工事	実施稼働
	【D棟】 ・県民健康管理センター ・先端診療部門	基本構想策定	設計者選定	施設基本設計	施設実施設計	入札	工事	実施稼働
	凡例	準備工程		実施工程				